

<算数・数学>

「福島県学力調査」の活用

- 1 結果を分析し
- 2 児童生徒へ返し
- 3 授業を改善
しましょう



福島県の学力調査の結果が各学校に届いていると思います。「よかった」「わかった」だけでなく、次の三つの視点から調査結果を有効に活用してほしいと思います。

1 調査結果の分析



<正答率だけでなく、出題のねらいをふまえた解答類型や無答率にも注目！>

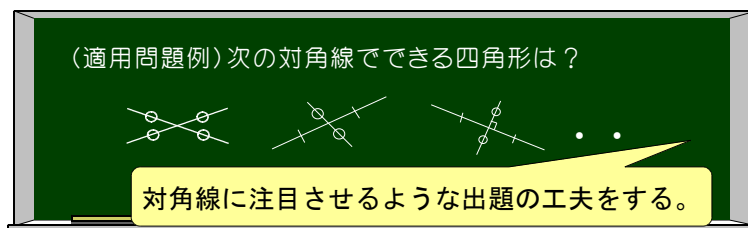


課題のある領域・単元だけでなく、児童生徒のつまずきの傾向も明確になります。また、指導計画の時数等に軽重を付けたり、つまずきやすい学習内容については重点的に指導したりすることにつながります。

例1 <算数> 解答類型からの分析

⑧「直方体のある辺と垂直な辺がわかる」ができていた。具体物を用いた算数的活動の効果があつた。しかし、⑨「四角形の対角線の性質を理解している」では、解答類型で、正答の長方形以外に、誤答の平行四辺形、ひし形の選択も多い。

算数的活動で性質を見いだした後に、振り返りとまとめを充実させることと、めあてに応じ定着が図れる適用問題の工夫が大切である。
(→適用問題例)



例2 <数学> 知識と活用の関連と解答類型からの分析

③(3)「加減法で連立方程式を解く」はできていたが、④「文章題から連立方程式を選ぶ問題」ができていない。解答類型を見ると、ある特定の量に着目できていないことがわかる。

そのため、数量を表や線分図で整理する方法・手順を重点的に指導する時間の確保が必要である。

長さの関係、時間の関係、重さの関係など、ある特定の量に着目させ、どんな問題のとき、どんな表や線分図に表すかを習熟させたい。
H26第2回定着確認シート(2年)問題7番などを活用し、数量の整理の仕方を指導する。

例3 <数学> 無答率からの分析

⑧(2)「度数分布表から、最頻値を求める」の無答率が高い。年間指導計画の遅れから定着のための時間の確保が十分でなかったことが考えられる。年間指導計画を重視し、「教えること」「考えさせること」「活動させること」「習熟させること」をバランスよく行うことが大切である。また、定着確認シートやフォローアップシートを活用するなど直接的な補充の機会が必要である。

例4 <算数・数学> 出題形式からの分析

記述式の問題に無答率が高く課題が残る。普段の授業において「説明」する活動を充実させることが大切である

※ HP 教科等の部屋

<算数>説明指導のポイント(その1, 2)

<数学>説明し伝え合う活動

参照

2 分析を児童生徒へ返す



<結果の配付だけでなく、称賛と課題克服のアドバイスを！>



単元や領域の分析から、個々のつまずきに応じて具体的にアドバイスしましょう。当然、「〇〇がよくできたね。」と褒めることも大切です。

例

数と計算、分数、小数の計算問題に課題があるので、誤答を修正する活動や、繰り返して習熟を図る場面の設定が必要である

→「基礎問題練習に取り組みましょう。」

「(類型別問題を提示し) どのようなときに、まちがいやすいかわかるかな。」

「(計算手順の誤答を提示し) どこがまちがっているかわかるかな。」

例

関数領域に課題があるので、系統を踏まえて前学年等の復習をする必要がある

→「1年の比例と反比例から復習をしましょう。」

「家庭学習で教科書の例題を確認していこう。」

「特に、グラフから式を読み取るところかな。」



課題の対策だけでなく、算数・数学ジュニアオリンピックなどの問題で、思考力を鍛るとともに、算数・数学のおもしろさを味わわせたいですね。参加した児童生徒の多くは、「難しかったけど、考えるのが楽しかった」という感想を持っています。

3 授業の改善



授業のねらいを踏まえて、T・Tや習熟の程度に応じた指導で成果を上げている学校もあります。



<全国学力・学習状況調査と本調査をロングスパンのPDCAとして、
定着確認シートをショートスパンのPDCAとして！>



以下は、全国学力・学習状況調査をうけて義務教育課より出された「改善のポイント」です。自校の結果分析を基に、授業を振り返り、どれが改善の重点になるか確認してみましょう。

また、授業での、設問(類題)ごとの具体的な指導のポイントは、全国学力・学習状況調査の「解説資料」や「報告書」、定着確認シートの「指導のポイント」が大変参考になります。

算数

- ◇ 児童の実態に応じた指導計画の工夫・改善
- ◇ 授業のねらいを明確にした指導
- ◇ 数学的な見方・考え方を高める授業展開の工夫
- ◇ 言語活動の充実・改善 **例4から**
- ◇ 適用問題を解く時間の確保 **例1から**

数学

- ◇ 生徒の実態に応じた指導計画の工夫・改善 **例3から**
- ◇ 数学的活動を重視した指導の充実 **例2から**
- ◇ 教科の目標と関連付けた数学的に説明し伝え合う活動の充実 **例4から**
- ◇ 生徒の実態に応じた指導 **例2から**
- ◇ 適用とまとめの時間の確保

知識・技能面が課題
なので、適用問題を
...

講義形式の授業だったので、
数、式、図、表などを用いた
言語活動を位置づけて...